

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2020
OCTOBER

No. 118

Sat. 3rd October
Tokyo Opera City Series

10



Jonathan Nott, *Music Director*



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督 ジョナサン・ノット
桂冠指揮者 秋山和慶
ユベール・スダーン
特別客演指揮者 飯森範親
名誉客演指揮者 大友直人
永久名誉指揮者 アルヴィド・ヤンソンス ◆
上田 仁 ◆
遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター 大谷康子

コンサートマスター グレブ・ニキティン
水谷 晃
アシスタント・
コンサートマスター 田尻 順
廣岡克隆

会長 横川 端
理事長 澤田秀雄
副理事長 平澤 創
依田 巽
専務理事 大野順二
常務理事 辻 敏
理事 阿部武彦 夏野 剛
池辺晋一郎 南部靖之
伊藤美樹 福川伸次
大橋 博 藤原 洋
岡崎哲也 増岡聡一郎
庄司 薫
竹中平蔵
永山 治

監 事 磯村文靖
寺西基之

評議員長 金山茂人
最高顧問 梅沢一彦 星 久人
鷺海重明 松木康夫
片山泰輔 山添 茂
加藤英輔 横川 寛
西村 朗

特別顧問 飯島延浩
草壁悟朗
福田紀彦

評議員 梅沢一彦 星 久人
鷺海重明 松木康夫
片山泰輔 山添 茂
加藤英輔 横川 寛
西村 朗

特別顧問 飯島延浩
草壁悟朗
福田紀彦

特別顧問 飯島延浩
草壁悟朗
福田紀彦

特別顧問 飯島延浩
草壁悟朗
福田紀彦

特別顧問 飯島延浩
草壁悟朗
福田紀彦

特別顧問 飯島延浩
草壁悟朗
福田紀彦

1st Violins

- 木村正貴
○堀内幸子
○小川敦子
加藤幸子
立岡百合恵
土屋杏子
中村楓子
森岡ゆりあ
吉川万理
大和田ルース

2nd Violins

- 清水泰明
○服部亜矢子
○坂井みどり
○加藤まな
○福留史紘
阿部真弓
河裾あずさ
塩谷しずか
鈴木浩司
竹田詩織
渡辺裕子

Violas

- 青木篤子
○武生直子
○西村真紀
○多井千洋
○山廣みほ
小西広興 ●
鈴木まり奈
永井聖乃
松崎里絵

Cellos

- 伊藤文嗣
○川井真由美
○謝名元 民
蟹江慶行
樋口泰世
福岡茉莉子 *

Double Basses

- 回助川 龍
○北村一平
○久松ちず
安田修平
渡邊淳子
笠原勝二

Flutes

- 相澤政宏
○八木瑛子 *

Flutes & Piccolos

- 高野成之
濱崎麻里子

Oboes

- 荒 絵理子
○荒木奏美
篠崎 隆

Oboe & English horn

- 最上峰行

Clarinets

- エマニュエル・ヌヴー
○吉野亜希菜
近藤千花子
小林利彰

Bassoons

- 福井 蔵
○福士路子
坂井由佳
前関祐紀

Horns

- 上間善之
○大野雄太
○ジョナサン・ハミル
阪本正彦
加藤智浩 *
清根伸吾 *

Trumpets

- 佐藤友紀
○澤田真人
野沢岳史 ●
松山 萌

Trombones

- 鳥塚心輔
○大馬直人
住川佳祐

Bass Trombone

- 藤井良太

Tuba

- 渡辺 功

Timpani & Percussions

- 清水 太
武山芳史
綱川淳美
新澤義美

Harp

- 景山梨乃

Librarian

- ★武田英昭

Stage Managers

- 西岡理佐
山本 聡

楽団委員

- 井伊 準 ◆

楽団長 大野順二

編成局長 藤原 真

パースネル・マネージャー 大和田浩明

楽団委員 大野雄太 (議長)
福留史紘 (書記)
北村一平
鈴木浩司
多井千洋
藤井良太

事務局長 辻 敏

事務局

伊藤瑛海
■尾木貴雄
■梶川純子
桐原美砂
佐藤雄巳
高瀬 緑
竹内裕子
長久保宏太郎
廣中憲士
美濃部 敦
山田道子
小川博司 *

事務局

伊藤瑛海
■尾木貴雄
■梶川純子
桐原美砂
佐藤雄巳
高瀬 緑
竹内裕子
長久保宏太郎
廣中憲士
美濃部 敦
山田道子
小川博司 *

名誉団友

深江泰輔 ◆ 三木靖雄

団友

天野佳和
新井 汎
安藤史子
池田 肇
石川晴依世
今村和弘
岩澤淳子
上原正二
上原規照
上原未莉
内田彬雄
内田乃桐子
宇都 美
梅田 学
大隅雅人
大塚正昭
馬場隆弘
小川さえ子
荻野 昇
奥田昌史
音川健二
加護合酒美
甲藤さち
加藤信吾
金澤 茂
宮原祐子
久保ひと樹
熊谷仁士
小林照雄
小林亮子
佐川聖二
佐々木真
菅野明彦
杉浦直基
鈴木一輝
芹澤英雄
鈴木一輝
菅根敦子
田中真輔
千村雅信
十亀正司
豊山 悟
中塚和良
中塚博則
中山 智
西依智子
西脇秀治
野村真澄
馬場隆弘
原田美保子
日野 奏
ペアン・
ボーマン
前田健一郎
丸山正昭
三浦正信
宮原祐子
宮本直樹
宮本 睦
森みこ子
諸橋健久
渡辺哲郎

【ハーブ寄題：環境ステーション株式会社】

◎首席奏者 ○フォアシュピラー ●インスパクター 回客演首席奏者
■本部長 □部長 ★チーフ *研究員・準事務局員 ◆故人 ◇新任

演奏会でのお願い

ご来場の皆様に演奏会を
楽しんでいただくためにご協力下さい

Please keep in mind the following rules, protocol and
etiquette so that all of our guests may enjoy today's concert.



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

お手持ちのチケットに記載されて
いる座席番号にのみ有効です。座
席移動はご遠慮ください。また係の者が、チケットを
拝見・確認させていただく場合がございます。

Please be seated at the seat number designated on your
ticket.



補聴器の確認を

補聴器をご使用のお客様は、ハウ
リングの発生を避けるためにきち
んと装着されているか今一度お確
かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please
check that your device is suitably set before the
performance begins.



開演前に携帯電話、 時計のアラーム音、 電子機器等の電源はOFF

マナーモードにしても振動す
る音が響きますので、電源は必ず
切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms
and all other noise-emitting electronic devices before the
performance begins.



演奏中の 飲食はご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は
思っている以上に場内に響きます
ので、演奏中の開封はご遠慮ください。のど飴は演奏
開始前までに口の中へ入れておきましょう。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール
袋等、音の出るものは音を立てな
いようにご配慮ください。演奏中
の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かば
んのチャック等をいじるのも雑音となりますのでご注
意ください。

Please be silent during the performance.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの
広い帽子や高さのある帽子は脱い
でご鑑賞ください。またリズムをとる行為も、隣の人
の迷惑になりますのでおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in
a way which could disturb or obstruct the view of those
seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場、曲間・楽章間のご
入場は制限させていただきます。
途中入場がある場合は、係員の指示に従ってください。

You will not be permitted to enter the concert hall during a
performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量は
かなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from
any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

フライングブラボーやフライング
拍手はお控えください。

The lingering sounds and moments are part of the
performance. Please hold your applause or shouting your
appreciation until the actual end of the performance.



香水は控えめに

Refrain from wearing an excessive amount of perfume.



ホール内での録音・録画・ 写真撮影は禁止です

Photography, filming and recording are prohibited.

10/3 SAT.

東京オペラシティシリーズ 第118回

2020年10月3日(土) 2:00p.m. 東京オペラシティコンサートホール

Tokyo Opera City Series No.118

Sat. 3rd October 2020, 2:00p.m. Tokyo Opera City Concert Hall

大友 直人 [指揮]

嘉目 真木子 [ソプラノ]

錦織 健 [テノール]

グレブ・ニキティン[コンサートマスター]

Naoto Otomo, Conductor

Makiko Yoshime, Soprano

Ken Nishikiori, Tenor

Gleb Nikitin, Concertmaster

千住 明／松本 隆(作詞)：

詩篇交響曲「源氏物語」(2008) (50')

I.序曲 II.桐壺 III.夕顔 IV.若紫 V.葵上
VI.朧月夜 VII.須磨 VIII.明石 IX.幻 X.終曲

休憩(20')

A.Senju / Text by Takashi Matsumoto :

Symphony of Psalms "The tale of Genji" (2008) (50')

I.Overture II.Kiritsubo III.Yugao IV.Wakamurasaki
V.Aoi no ue VI.Oboro Zukiyo VII.Suma VIII.Akashi
IX.Maboroshi X.Finale

Intermission(20')

シベリウス :交響曲 第2番 二長調 作品43 (45')

I. アレグレット
II. テンポ・アンダンテ・マルバート
III. ヴィヴァチッシモ
IV. フィナーレ:アレグロ・モデラート

J.Sibelius Symphony No. 2 in D Major, op.43 (45')

I. Allegretto
II. Tempo andante, ma rubato
III. Vivacissimo
IV. Finale: Allegro moderato

●主催／公益財団法人東京交響楽団

●助成／文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

※当初の予定から、出演者、曲目が変更となりました。※ニコニコ生放送による生配信がございます。

楽曲解説はP.08をご覧ください



10/3 SAT.



©Rowland Kirishima

Naoto Otomo

Conductor

大友直人 [指揮]

Honorary Guest Conductor
名誉客演指揮者

桐朋学園在学中に22才でNHK交響楽団を指揮してデビュー以来、日本の音楽界をリードし続けている日本を代表する指揮者のひとりである。日本フィル正指揮者、大阪フィル専属指揮者、東京交響楽団常任指揮者、京都市交響楽団常任指揮者、群馬交響楽団音楽監督、琉球交響楽団音楽監督を歴任。2020年1月、高崎芸術劇場の芸術監督に就任。

また東京文化会館の初代音楽監督として東京音楽コンクールの基盤を築いたほか、数々の自主制作の企画を成功に導いた。海外オーケストラからも度々客演として招かれ、ハワイ響には旧ホノルル響時代から20年以上にわたり定期的に招かれている。

小澤征爾、森正、秋山和慶、尾高忠明、岡部守弘らに学ぶ。NHK交響楽団指揮研究員時代にはサヴァリッシュ、ヴァント、ライトナー、プロムシュテット、シュタインらに学び、タングルウッドミュージックセンターではバーンスタイン、プレヴィン、マルケヴィチらにも指導を受けた。

Otomo has led Japanese music scene since his debut. He currently serves as Music Director at the Ryukyu Symphony Orchestra (Okinawa) and Artistic Director of Takasaki City Theatre, and previously held posts at the Japan Philharmonic, Tokyo, Kyoto and Gunma Symphony Orchestras and Osaka Philharmonic.

He has appeared repeatedly with the Royal Stockholm Philharmonic, National Symphony Orchestra of Romania, Indianapolis Symphony, Hawaii Symphony, and he led the Philharmonia Orchestra on its tour to Japan.

Otomo has performed with world-renowned soloists, such as Radu Lupu and Mstislav Rostropovich, among others.

Well-known for his wide repertoire ranging from classical to contemporary, Otomo has premiered numerous new works in Japan, such as several pieces by James MacMillan and opera "A Flowering Tree" by John Adams. He was also awarded for his performance of Italian premiere of Saegusa's Jr. Butterfly at the Puccini Festival.



©T.Tairadata

Makiko Yoshime

Soprano

嘉目真木子 [ソプラノ]

国立音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所修了(優秀賞)。文化庁在外研修員として渡伊。二期会『魔笛』(故実相寺昭雄演出)パミーナで本格的なオペラデビューを飾り、以後『フィガロの結婚』スザンナ、『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『パリアッチ』ネッダ、『こうもり』ロザリンデ、『魔弾の射手』アガテ等主要な役で出演を重ね、2018年には二期会とフランス国立ラン歌劇場共同制作『金閣寺』(宮本亞門演出、仏初演)女役でフランスデビュー。翌年の東京公演でも同役及び有為子で出演した。19年日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、グランドオペラ共同制作『カルメン』(A.バットィストー二指揮)ミカエラで出演。『第九』等コンサート・ソリストとしても活躍の他、NHKニューイヤーオペラコンサートにも出演。2017CHANEL Pygmalion Daysアーティスト、トップホールエスポワールアーティスト。20年11月二期会『メリー・ウィドー』ハンナ・グラヴァリで主演予定。二期会会員

Makiko Yoshime completed undergraduate and graduate studies at Kunitachi College of Music After completing training at the Nikikai Opera Institute, she studied in Italy under the Agency for Cultural Affairs Overseas Study Program. She made her debut as Pamina in the Tokyo Nikikai Opera Theatre's production of Die Zauberflöte. Since then, she has played important roles at the Tokyo Nikikai Opera Theatre, such as Susanna, Zerlina, Nedda, Rosalinde, and Agathe. She made debut in France as Die Mädchen in the Tokyo Nikikai/ Opéra national du Rhin co-production of Kinkakuji (directed by Amon Miyamoto, French premiere), and reprised the same role, as well as that of Uiko in the Tokyo Nikikai Opera Theatre in February 2019. Selected as CHANEL Pygmalion Days artist(2017) and Toppan Hall "Espoir" artist, both of which encourage high-potential young musicians. She is a member of Nikikai.

10/3 SAT.



©大八木宏武(都恋堂)

Ken Nishikiori

Tenor

錦織 健 [テノール]

国立音楽大学卒業。文化庁オペラ研修所第5期修了。文化庁在外研修員としてミラノに、また五島記念文化財団の留学生としてウィーンに留学。第17回ジロー・オペラ賞新人賞、第4回グローバル東敦子賞、第1回五島記念文化賞新人賞、第6回モービル音楽賞洋楽部門奨励賞受賞。1986年「メリー・ウィドウ」カミーユ役でデビュー以後、数多くのオペラ公演に出演、また第九や宗教曲等のソリストとしても高く評価を受け、親しみやすいトークを交えたりサイタルでも多くのファンを魅了している。2002年からはオペラ・プロデュースも始め、2015年には第6弾モーツァルト作曲「後宮からの逃走」も手がけた。この他、2000年、03年のNHK紅白歌合戦への出演や2012年より6年間NHK-FM「DJクラシック」のパーソナリティーを務めるなど、テレビやラジオ番組への出演も多い。

Ken Nishikiori graduated from Kunitachi College of Music and completed the fifth term at the Opera Studies Center. He also studied in Milan and Vienna. He is a recipient of the 17th Giraud Opera New Artist Award, the 4th Global Atsuko Azuma Award, the 1st Gotoh Memorial Cultural Award's New Artist Award, and the 6th Mobil Music Award for 'Promising New Musician' in the Western Classical Music Division. Since his debut performing Camille in The Merry Widow in 1986, Nishikiori has been highly acclaimed for his performances in operas, concerts of sacred music with orchestra, and recitals where he fascinates fans with his friendly talk as well. He also appears in TV and radio programs. Since 2002, he has been producing operas and carried out the 6th project with Mozart's "Die Entführung aus dem Serail" in February - March, 2015.

10/3 SAT.

千住明(1960～)

詩篇交響曲「源氏物語」(2008)

紫式部が記した平安時代の長編小説「源氏物語」。光輝くほど美しくすべての才能に優れた光源氏を描く54帖からなる物語は、原作だけでなくさまざまなジャンルの作品となって愛されているが、この世界を歌とオーケストラで描いたのが詩篇交響曲「源氏物語」だ。各曲は複数人物の視点・思いを綴るが、紫の上と光源氏の対話を除き、歌手1人が1曲を通して歌う。映画音楽も数多く手がける千住ならではの“音の平安絵巻”を楽しみたい。

序曲、オーケストラの壮大かつ繊細な響きで1000年前の世界へ誘う。**桐壺**、1帖「桐壺」より。母・桐壺の更衣は光源氏が3歳のときに逝去。その後入内した藤壺に母の面影を重ね、密かに思いを寄せていく。歌詞第6連の音楽は第3連のリピートで、藤壺が桐壺と生き写しであることを音楽でも表す。**夕顔**、4帖「夕顔」より。光源氏が立ち寄った家の隣から、歌が詠まれた扇を贈られ(第2連)、光源氏は歌を返す(第3連)。素性も分からぬまま、垣根に夕顔が咲く家の姫に惹かれていくが、姫は物の怪に襲われ亡くなる。**若紫**、5帖「若紫」より。藤壺の姪、紫の上と出会う。第2連の紫の上の言葉から彼女の幼さが分かるが、彼女を育てたいと願う光源氏は結婚を申し込む。その一方で藤壺への思いが募り、契りを結んでしまう(第5連)。**葵上**、9帖「葵」より。葵の上は光源氏の正妻だが、歌詞は主に六条御息所の思いを歌う。身分の高い六条御息所だが、光源氏に焦がれるあまり生霊となり、葵の上を殺めてしまう。**朧月夜**、前半は8帖「花宴」、後半は10帖「賢木」より。花見の宴のあと、朧月夜を愛でる歌を詠む姫と出会う。その姫は政敵・右大臣の娘。危険な恋にのめり込んだ末、嵐が去った朝、右大臣と弘徽殿の大后に見つかってしまう。**須磨**、12帖「須磨」より。光源氏26～27歳。失脚した光源氏は須磨へ隠遁する。紫の上との別れを惜しむ対話、オーケストラの間奏ののち場面は須磨に。紫の上や都を懐かしむ思いを描く。**明石**、13帖「明石」より。光源氏27～28歳。夢にあらわれた父・桐壺院のお告げで須磨を去り明石へ。そこで明石の君と結婚するが、都へ帰ることに。明石の君と琴を弾き合い、「調弦が緩む前に逢瀬を遂げましょう」と約束して別れる。**幻**、41帖「幻」より。光源氏52歳。彼が「源氏物語」に登場する最後の帖。40帖「御法」で亡くなった最愛の紫の上を思う光源氏を描く。**終曲**、序曲と対になる音楽。平安ロマンの世界の幕を静かに閉じる。

神原律子 Text by Ritsuko Sakakibara

作曲:2008年

初演:2008年10月31日京都、大友直人指揮、京都市交響楽団。

編成:ソプラノ独唱、テノール独唱、フルート2(ピッコロ持替1、アルトフルート持替1)、オーボエ2(イングリッシュ・ホルン持替1)、クラリネット2、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、グロッケンシュピール、ヴィブラフォン、ウィンドチャイム、シンバル、大太鼓、タムタム、拍子木、風鈴、鈴、ハーブ、弦5部

A.Senju : Symphony of Psalms “The tale of Genji” 2018 [歌詞]

千住 明 : 詩篇交響曲「源氏物語」(2008)

作詞 : 松本 隆 text by Takashi Matsumoto

Ⅱ.桐壺 (テノール)	Ⅲ.夕顔 (ソプラノ)	Ⅳ.若紫 (テノール)
<p>月より白い頬の色 絹糸に似た長い髪 朝の露より儂く生きて 透明なまま天に召された</p>	<p>夕顔を扇に乗せ届けましょう 手で摘まむには か弱すぎる花だから</p>	<p>山なみの青紫に 桜の点 消え残る春 前髪が扇のように 花やいだ少女に逢った</p>
<p>愛されすぎると薄幸になる 父の帝の寵愛が過ぎ 後宮たちの妬みの渦が 命の衣を剥ぎ取った</p>	<p>もしかしてあなたって あの光る君かしら 白露の眩(まばゆ)さに この花も映えるでしょう</p>	<p>雀の子 犬君が伏籠 転がして空に逃げたの 尼君は顔きながら 子の未来 案じて泣いた</p>
<p>桐壺 私は母の顔を知らない 亡くなったとき 幼子だった 桐壺 私は母の顔を知らない その空白の面影を 私は一生追うのだろう</p>	<p>そばに来て確かめて そう歌で答えたの 黄昏にぼんやりと 滲んでた遠い人</p>	<p>藤壺の紫の根が この子にもつながっている 野辺に咲く可憐な花を 手に摘んで育ててみたい</p>
<p>光る君 光る君 女御や更衣が手で招く 利発さを父は案じて 源氏の名を与えてくれた</p>	<p>名前も知らない 教えない 普段着のままここにきて 身分も訊かない 答えない ただ優しさの輪郭を こうして指でたどるだけ</p>	<p>母のない 私と同じ 境遇の藤壺の姪 引き取ると願う言葉を 尼君は冷たく拒む</p>
<p>藤壺の君が入内したとき 母にそっくり 皆が騒いだ 床几を抜けて御簾の内まで 膝に甘えに遊びにいった</p>	<p>布を打つ砧の音 庭先の秋の虫 ありふれた日常が 音楽に変わるのね</p>	<p>苛立ちに背中を押され 藤壺の御簾をすり抜け なんて罪深い なんて罪深い 父を裏切り 夫に背を向け 人に言えぬ生命宿した</p>
<p>藤壺 私の母と生き写しのひと 元服すると逢えなくなった 藤壺 母とあなたが二重写しに 御簾の外から動く影 目で追いながら焦がれてた</p>	<p>幸せはいつだって 永続きしないもの 空渡る月の船 瞬き消え入りそう</p>	<p>深い秋 尼は亡くなり 遺された孤独な少女 雷鳴に怯える背中 守ろうと心に決めた</p>
<p>桐壺 私は母の顔を知らない 亡くなったとき 幼子だった 桐壺 私は母の顔を知らない その空白の面影を 私は一生追うのだろう</p>	<p>名前も告げない 尋ねない 夕顔に似た女だと 記憶のかけらを残せばいい やがて静かな夜の底 私はそっと目を閉じる</p>	<p>さあ髪を梳かしてあげよう さあ髪を梳かしてあげよう かかとまである黒髪が 千尋の深さの 海の底へ届くまで あなたの未来を見届けよう あなたの未来を見届けよう</p>

10/3 SAT.

A.Senju : Symphony of Psalms “The tale of Genji” 2018 [歌詞]

千住 明 : 詩篇交響曲「源氏物語」(2008)

V. 葵上

(ソプラノ)

魂が身体を離れ
空を舞い雲間を滑る
逆立った髪は墨色
星空を塗りつぶしていく

光る君 一目見ようと
祭りの日 混みあう車
正妻の葵の君に
割り込まれた壊れた車

東宮妃だった私に
なんという哀しい恥辱
めらめらと心の奥に
嫉妬の火 飛び火していく

臨月の葵が伏せる
部屋の隅 宙に浮かんで
憎しみの化身となって
まなざしも般若に変わる

泣かないで きつとよくなる
囁かれ微笑む葵
ご祈祷をゆるめてください
苦しくて息ができない

恋しさにさまよう心
その指でつなぎとめてね
途中から声が変わって
誰だ！って突き放された

夕霧という男の子
産んだ後 葵は死んだ
冷酷で高飛車だった
妻なのに源氏は泣いた

悪い夢みていたように
汗ばんで目覚めた私
護摩に焚く芥子の香りが
服や髪しみこんでいた

VI. 朧月夜

(テノール)

花の宴 酔いにまかせて
弘徽殿を散歩していると
きれぎれに「朧月夜…」と
歌う声 華やかな影

名は明かさず 互いの扇
取り換えて約束にした
政敵の六の君だと
あとで知りなお惹かれてく

月の光を隠す雲
輪郭がみな溶けていく
私の生きる道さえも
妖しい影に包まれる

藤壺は顔を背けて
拒みきり出家なされた
東宮を守り抜くため
ご自分の愛を投げ捨て

その逆に朧月夜は
危なげな恋を貫く
帝へと参内ののちも
情熱は燃え立つばかり

彼女の父の右大臣
密会の部屋に急に来て
袖に絡んだ私の帯と
恋歌書いた紙の海を見た

月の光を隠す雲
弘徽殿の女御はそれを聞き
帝に謀反企てたと
私に罪をなすりつけた

VII. 須磨

(ソプラノ/テノール)

紫の上「連れてってくださらないの
寂しげなその海岸へ」

源氏「長いことかかるようなら
岩屋でもあなたを呼ぼう」

紫の上「でも謹慎の旅だから
私がいると邪魔なのね」

源氏「頬はこけ やつれてしまった
身体こそ遠く離れても
鏡に映る自分のように
二人は一心同体のはず」

紫の上「手鏡に残像残していつて
覗けばいつでも逢えるように」

須磨の浜 ひとり眠れず
四方(しほう)から吹く風を聴く
打ち寄せる幻の波
泣き濡れた枕が浮かぶ

琴の弦 爪弾く音色
哀しくて途中で止めた
都から吹く風のせい
従者まで起きてみな泣く

須磨浜の海鳴りを
絵筆をとって描くたび
透明な青さだけ
手から心に染み込んでいく

VIII. 明石

(ソプラノ)

嫁ぐなら高貴な人へ
父、入道に言われ育った
その夢がかなわぬときは
海にでも身を投げるがいいと

高麗の紙 くるみ色の文
綺麗な文字に気後れがして
行間に心の深さ
量りきれずに拒み通した

十三夜の月
月毛の駒で雲間を駆けて
思う誰かは別にいるのに
海に淡路島
私の琴が聴きたいと言う
風の細紐 弦を鳴らした

年代わり帝は目を病み
物の怪に悩む大后
光る君 無実の罪を
許されて帰京が決まる

藻塩焼く煙のように
離れても風に溶け合う
形見にとくさる琴の
調弦が緩まる前に…

澄み渡る音色
あなたの方へ寝返る波に
この身を投げて沈みましょうか
旅の狩衣
涙を濡れた互いの服を
取り換えましょう また逢う日まで

IX. 幻

(ソプラノ/テノール)

紅梅がつばみをつけて春の陽が庭に降っても
あなたの姿に切り抜かれた心に白く雪が舞う

雪の朝 女三の宮の部屋を出て急に訪ねた
凍てつく両手を暖めながら涙で重い袖を隠した

永遠に続いたはずの幸福がひび割れてゆく
柏木に不義の子を作られ運命の手に頬叩かれた

紫の上「生きているのも束の間ね草の葉の露のよ
う乱れた風にさらわれるだけ」

源氏「先争って消えていく儂げな命なら
あまりあなたを待たせないはず」

つやめいて波をうつ髪その頬は命あるよう
栄華を極めた私のはずがたった一人の最愛の人も
幸福にできなかった

紫の上「犬君が雀逃がしたの
天をめざして羽撃(はばた)いた」

源氏「桜咲く山道を
走り去って少女の背中」

源氏「晴れた日に二人交わした
文の束燃やしましょう」

紫の上「鏡に影を残していつて
覗けばいつも逢えるように」

春までの命だろうか
雪に咲く 紅梅の花
髪に飾って歩いていこう
光あふれる幻に向かって

10/3 SAT.

ジャン・シベリウス (1865~1957)

交響曲 第2番 二長調 作品43

森と湖の国フィンランドは1917年に独立した国であり、それ以前は長きにわたリスウェーデンに支配され、19世紀、ジャン・シベリウスが生まれた頃はロシアの治世下だった。19世紀末になりフィンランドの自治が弾圧され始めると反ロシアの機運が高まり、1900年夏のパリ万国博覧会では国際社会に向けてフィンランドをアピールするため、シベリウスの交響詩「フィンランディア」が披露された(ただしロシア当局の検閲を避けるため「祖国」という題に変更しての演奏だった)。

フィンランドの第2の国歌と言われる交響詩「フィンランディア」だが、このような題の作品を万博で演奏しようと考えたのはシベリウス自身ではなく、「X」と名乗る人物から届いた手紙によるものだった。その人は、この手紙以降シベリウスのパトロンとなるアクセル・カルペラン男爵だ。彼がこの手紙でさらに提案したのがイタリア旅行だった。いつの時代もイタリアは芸術家にインスピレーションをもたらしてくれる国。チャイコフスキーやR.シュトラウスを例に挙げ、イタリア旅行は作曲家を成長させるものであり、シベリウスもぜひ経験すべきだとカルペラン男爵は考えたのだ。実はシベリウスはパリ万博の前、1900年初めに最愛の三女をチフスのため1歳3か月で亡くしており、パリから帰国後も悲しみの中にいた。その気持ちを振り切るためにも再び外国に行こうと思ったのかもしれない、男爵の申し出を受けて1900年10月末にイタリアへ向けて出発。ベルリンを経由して1901年1月にジェノヴァの東の港町ラッポロに到着し、その後ローマやフィレンツェなどにも滞在しながら新しい曲がスケッチを進めた。その中にはドン・ファン伝説やダンテ『神曲』に基づく曲があったが、作品としては実現せず、代わりにそのスケッチを使って別の曲を作曲した。それが交響曲第2番だ。カルペラン男爵に捧げる交響曲として帰国後も作曲を続け、1901年10月にはカルペラン男爵に5楽章の交響曲になると伝えたが、最終的には全4楽章として完成。1902年にシベリウス自身の指揮によって初演され、大成功を収めた。

シベリウスは調性に色を感じる共感覚の持ち主で、二長調には黄色のイメージを抱いていた。交響曲第2番が二長調なのは、太陽が燦爛と照るイタリアの空の下で書かれたからだろう。また、フィンランド帰国後、シベリウスは作曲を続けるにあたり湖のほとりの仕事場を求めており、黄色い太陽だけでなく、水にもインスピレーションを得て作曲された交響曲である。その音楽は、暗く沈むような第2楽章を経て、第4楽章の輝かしいフィナーレに到達するため、初演時フィンランドの評論家たちは、ロシアの支配に

抵抗して自由を勝ち取るフィンランド国民を描いた交響曲だと論評したが、シベリウス自身は否定している。のちにシベリウスは「交響曲第2番は魂の告白だ」と語った本作、イタリアやフィンランドの空気、そして明暗のコントラストのドラマを味わいたい。

第1楽章 ソナタ形式の楽章。寄せる波のような弦楽器の動機、のどかな木管楽器の動機、ヴァイオリンによる輝かしい歌などさまざまな動機があらわれ、シベリウスの言う「深遠な論理」でそれらがつながり展開していく。

第2楽章 イタリアでスケッチしたドン・ファンに関連する旋律を主題に使った楽章。そのスケッチの横には、ドン・ファンと石像の宴の場面——無言だった石像が歌い始め、彼が“死”であることをドン・ファンは悟る、という内容の詩が書かれているため、第2楽章は「死」がテーマといえるかもしれない。低弦のピツィカートと共にファゴットが寂しげな旋律を歌い、情熱的な音楽が進んだのち、一転して嬰へ長調の天国的な音楽に（やはりイタリアでスケッチした『ダンテ』の音楽を転用。そのスケッチにシベリウスは「キリスト」と記していた）。しかし天国の世界は長く続かず、緊張を高めていく。

第3楽章 スケルツォの楽章。弦楽器が駆け巡り、音楽は疾走する。それと対照的にトリオでは牧歌的な音楽を美しく歌い上げる。最後は高揚し、切れ目なく第4楽章へ。

第4楽章 弦楽器の輝かしい主題やトランペットのファンファーレによって神々しい音楽が展開するフィナーレ。しかし、ひそやかな音階が始まり、民謡を思わせる悲しげな主題が木管楽器によって奏でられる（シベリウスの妻アイノによれば、この主題は、自殺したアイノの姉を思い書かれた曲をもとにしたもの）。光と影を思わせる音楽は、長調でクライマックスを迎え、高らかに締めくくる。

榊原律子 TEXT by Ritsuko Sakakibara

作曲：1901年

初演：1902年3月ヘルシンキ、作曲者自身の指揮。

編成：フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、バス・チューバ1、ティンパニ、弦5部

作曲家
千住明が語る
《源氏物語》



AKIRA SENJU

もう12年も前の話になりますが、この作品は、源氏物語千年を記念して源氏物語千年紀委員会から委嘱されました。「源氏物語」を題材に何か創れないかと言う事で、どの様な曲を書こうかと悩みました。丁度その数年前に、東京文化会館音楽監督であった大友直人さんから新しい舞台音楽の作品の依頼を受けて、作詞家の松本隆さんと相談し、二人でオペラ「隅田川」を創ったタイミングでした。新しいアプローチのヒントをつかんでいた僕は、すぐに再び松本さんに依頼をして、オーケストラ歌曲にする事を決め、オペラ「隅田川」のプロダクションで培った方法で制作を始めました。基本的に詩が先で音楽が後という形でピンポンしながらブラッシュアップする方法です。

実は、この「源氏物語」には、僕のデモスケッチがもう1パターン存在しました。最終的に松本さんと相談の上、現在の形を採用したのです。初演時にも松本さんは「ガンジス川の水をコップ1杯で

表す様なもの」とおっしゃいましたが、どこに焦点を当てるか、各詩の一篇一篇からストーリーが感じられる新しい形の源氏物語が語られていました。「詩篇交響曲」という言葉もそのコンセプトから来ています。

現代に継承するために色々なジャンルで源氏物語は扱われて来ました。現代日本人のクリエイターとして僕にお話を頂いた事が大変光栄な事です。様々な「源氏物語」に触れて、その世界を難しくするのではなく、分かりやすく表そうと思いました。現代音楽でもポピュラー音楽でもなく、純音楽とエンターテインメントの中間の楽曲にしたつもりです。特に僕が音楽の立場で大切にしたのは序曲と終曲で、皆様を源氏物語へ誘い、また再び現実の世界へ戻っていたく、という世界観を創る事でした。

初演は2008年10月31日京都コンサートホールに於いてソプラノ小林沙羅、テノール松本董平、大友直人指揮、京都市交響楽団により演奏され、NHKBS

作曲家 千住明が語る《源氏物語》

でも放送されました。当時、風当たりの強い立場になるであることを覚悟した初演でした。当日は、千年の時を越え、短編映画を観るかの様な瞬間でした。



初演はライブ盤のCDにもなっている。詩篇交響曲《源氏物語》
(TOCT-26749/ユニバーサルミュージックジャパン)

今年僕は活動35周年を迎えます。様々な音楽を創って参りましたが、この10年程は自分発の純粋な音楽、特にオーケストラの作品を書くチャンスに恵まれ、その世界を掘り下げて来ました。本公演の指揮者 大友直人さんはプライベートでも親しくして頂いている、いつも新たな模索を共にして来た、僕の最大の理解者であり盟友です。これまでの共演でも、彼の適切なリードとアイデアがあり、この道を開く大きな勇気とチャンスになりました。

そして今回本楽曲を演奏する東京交響楽団は、子どもの頃、そして学生の頃から憧れたオーケストラのなかでも、特に現代曲や新曲に於いて僕の師匠をはじめ、多くの先輩作曲家、編曲家たちの作品を紹介され、正に日本のオーケストラ文化を象徴する楽団だと思っています。

僕の作品もすでに「万葉集」「日本交響詩」等、取り上げて頂き、今回もまたその歴史に加われる事を光栄に思います。また僕自身の個展コンサートに於いても共演して頂いた事は大変大きな経験になっています。

今後も新作オーケストラ音楽に新たな可能性を見出して行きたいと思っています。



©N. Ikegami
2017年8月20日 東京オペラシティシネマ第99回
指揮=大友直人、管弦楽=東京交響楽団
千住明: オペラ「滝の白糸」から 第3幕

千住明 Akira Senju

[作曲家/Composer]

1960年10月21日東京生まれ。幼稚舎より慶応義塾で学び、慶応義塾大学工学部中退、東京藝術大学作曲科卒業。同大学院を首席で修了。修了作品「EDEN」(1989)は史上8人目の東京藝術大学買上となり、同大学美術館(芸術資料館)に永久保存されている。藝大在学中からその活動は、ポップスから純音楽まで多岐にわたり、作曲家・編曲家・音楽プロデューサーとしてグローバルに活躍。'97年第20回、'99年第22回、'04年第27回日本アカデミー賞優秀音楽賞等受賞歴多数。東京藝術大学特任教授。東京音楽大学特別招聘教授。

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N Ikegami

ご芳名 (敬称略)

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
ハウステンボス株式会社
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社インサイド・アウト
花王株式会社
環境ステーション株式会社
学校法人創志学園
株式会社ティーワイ リミテッド
株式会社日本財託
ピーアークホールディングス株式会社
株式会社フェイス

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
イーサポートリンク株式会社
サントリーホールディングス株式会社
新菱冷熱工業株式会社
セントラル短資FX株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
玉の肌石鯨株式会社
中外製薬株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
株式会社日本ポステム
株式会社パソナグループ
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
株式会社ぶらう
丸紅新電力株式会社
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
横浜自動車部品株式会社

シルバー会員

株式会社エスティア
株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
学校法人順心広尾学園
松竹株式会社
有限会社青史堂印刷
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
日本宅配システム株式会社
株式会社野毛印刷社
久光製薬株式会社
本田技研工業株式会社
司法書士法人村田事務所
株式会社LALLヒューマンホールディングス

ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
ニッシンエレクトロ株式会社
富士ゼロックス神奈川株式会社
前山歯科医院
株式会社ヤクワ
株式会社U・STYLE
株式会社ワイ・ティ・ビー

賛助企業

アサヒビール株式会社
東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名3社

<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのために不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典	詳細はHP、 又はお電話でお問合せ下さい	法人会員				
		法人会員	サークル 会員	フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内		○	○			
出演者・楽員との懇親会		○	○			
オリジナルイベント		○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)		○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)		○	○	○	○	○
ご芳名掲載		○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約*1		○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内*2		○	○	○	○	○

*1 一部対象外もございます。*2 東京交響楽団の主催公演およびミューザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合：[寄附金額から2,000円引いた金額]の40%分^{*3}について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合：[損金算入限度額]が一定の算式に従い、拡大されます。^{*3}

^{*3}但し、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけるようになりました。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians

楽団員紹介

演劇に魅せられたヴァイオリニスト

森岡 ゆりあ

Yuria Morioka

[[第1ヴァイオリン奏者] 2017年 11月入団

趣味:宝塚歌劇団・バレエ鑑賞



©N.Ikegami

ウィーンでの1年間

テレビでアンネ=ゾフィー・ムターの弾き姿を観て「これがやりたい」とヴァイオリンを始めたのが3歳の時。小学校3年生の時、父の仕事の関係で音楽の都ウィーンで暮らした1年間も、ヴァイオリンのレッスンを続けていました。ウィーン国立歌劇場で魔笛や白鳥の湖を観たのが、今でも記憶に残っています。

現地の小学校は、オーストリア周辺の様々な国から来た生徒がいる、とてもグローバルなところ。「宗教」の科目ではキリスト教の人とそれ以外の人に分かれて授業を受けてました。夏休みにはオーストリアの中央に位置するラッシングという小さな町で合宿があったのですが、そこで一緒だった友人は、今ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に在籍しています。



小学3年生のとき、ヴァイオリンのTatiana先生と、現ウィーン・フィル第1ヴァイオリン奏者のAlina Pinchasさんと。

宝塚歌劇団の虜に

宝塚歌劇団を初めて観たのは、全国公演で福岡に宝塚歌劇団の花組が来た時。煌びやかな世界観、圧倒的になかっよさにあつという間に虜になってしまい、その時からずっと熱烈なファンです。時

には数少ない当日券を求めて、始発電車で劇場に向かうことも。

この自粛期間中は、新しい教本を取り入れて基礎を見つめ直したり、弾きたくて買っておいた楽譜を消化したりしました。世界各地に散らばった友人たちとテレビ電話をつないで弾きあい会をしたり、「オンライン飲み会」をしたり、たまには運動をと、散歩を試みたり。

そして、大好きな宝塚のセルフメイクにも挑戦しました。というのも、この自粛期間中に、パーソナル・マネージャーが定期的に楽団内メールマガジンを配信していて、そこで楽員それぞれの最近の様子を集めて動画で公開していたのです。

その時に、中村さん(第1ヴァイオリン/下記写真右側)からリモートアンサンブル「鏡のデュオ」をご提案があって…しっかりメイクをして、“ベルサイユのばら風”に「鏡のカノン」を弾いて、楽団内に公開しました。反響がもの凄く……。一回やってみたかったのでよかったです(笑)。



宝塚メイクはしっかり練習をして、撮影に挑みました。

インタビュー:事務局

NEWS & TOPICS

楽 団 人 事

2020年9月27日付

渡辺 裕子 Hiroko Watanabe [第2ヴァイオリン]

1983年に入団し、37年にわたり活躍しました。再雇用契約にて引き続き第2ヴァイオリン奏者として活動いたします。



第九&ニューイヤーコンサート、クリスマスコンサートの発売日決定!!

年末年始公演の発売日が決定致しました!良席はお早めに!

東響会員先行発売:10/12(月) 一般発売:10/19(月) TOKYO SYMPHONY チケットセンター 044-520-1511

「千住真理子のクリスマス」

12月25日(金) 14:00 横浜みなとみらいホール

指揮:現田茂夫/ヴァイオリン:千住真理子

「第九2020」

12月28日(月) 18:30、29日(火) 14:00 サントリーホール

指揮:ジョナサン・ノット、ソプラノ:ジャクリン・ワーグナー

メゾソプラノ:カトリオーナ・モリソン

テノール:クリスティアン・エルスナー

バスバリトン:リアン・リ、合唱:新国立劇場合唱団

「ニューイヤーコンサート2021」

1月10日(日) 14:00 サントリーホール

1月11日(月・祝) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮:秋山和慶/ピアノ:小山実稚恵

詳細は公式サイトからご確認ください。



NEXT PROGRAM

11/1 新潟特別演奏会 2020 霜月

(日) 5:00p.m. "リゅーとびあ"コンサートホール

指揮:飯森範親

ポロディン:だったん人の娘達の踊り、だったん人の踊り

ムソルグスキー:はげ山の一夜(1880年版)

チャイコフスキー:大序曲「1812年」/チャイコフスキー:交響曲 第6番「悲愴」

※当初の予定から出演者が一部変更になりました。

チケット発売日:2020年10月14日(水)

お問い合わせは、リゅーとびあチケット専用ダイヤル025-224-5521 (11:00~19:00/休館日除く)へ



11/15 第686回 定期演奏会

(日) 2:00p.m. サントリーホール

※11/14(土)名曲全集第161回 2:00p.m. ミューザ川崎シンフォニーホールでも同プログラムで開催

指揮:ジョナサン・ノット/ピアノ:小菅優

矢代秋雄:ピアノ協奏曲/ブルックナー:交響曲 第6番

S¥9,000 A¥7,000 B¥6,000 C¥4,000 P¥3,000 好評発売中!



東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ
＜提携＞公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団



公式サイト <http://tokyosymphony.jp>



1946年、第二次世界大戦によって中断された音楽文化の再建と、新しい舞台音楽の公演を目標に「東宝交響楽団」として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。

現代音楽やオペラの初演に定評があり、これまでに文部大臣賞、京都市音楽大賞、文化庁芸術作品賞、モービル音楽賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞など日本の主要な音楽賞の殆どを受賞。2020年3月第32回ミュージック・ペンクラブ音楽賞「オペラ・オーケストラ部門」[室内楽・合唱部門(東響コーラス)]をW受賞した。

2014年度シーズンより、ジョン・サッ・ノットが第3代音楽監督に就任。音楽監督と共に3年がかりで取り組んだ「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」や、ミュージック・ペンクラブ音楽賞優秀録音作品賞を受賞。音楽誌「音楽の友」の「41人の音楽評論家・記者が選ぶ「コンサート・ベストテン2019」」にて、最多3公演が選出され注目を集めた。

ITへの取り組みも積極的で、[VRオーケストラ]や[LINeチケット]の導入、日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サービス「TSO MUSIC&VIDEO SUBSCRIPTION」をスタートしたほか、2020年3月にニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴し注目を集めた。また、録音や放送においても活発で、テレビ朝日「題名のない音楽会」レギュラー出演や、TOKYO SYMPHONYレーベル、N&Fレーベル、キングレコード、EXTONレーベル、日本コロムビア等からCDを多数リリースしている。

舞台芸術創造活動活性化事業として文化庁の助成を受け、サントリーホール、ミュージック・ペンクラブシンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市とフランチャイズ、新潟市と準フランチャイズ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とパートナーシップ提携し、コンサートやアウトリーチなどを積極的に展開している。これら地域に密着した活動の一方で、海外においてもウィーン楽友協会での公演や日中平和友好条約締結40周年記念公演等58都市で78公演を行い、国際交流の実を挙げた。また、新国立劇場では1997年の開館時からレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演に出演。さらに、子どものための演奏会にも早く取り組んでおり、「10歳からのオーケストラ」[この日も定期演奏会(サントリーホールとの共催)]は多方面から注目されている。

東日本大震災を機に、2011年5月から楽団員によるチャリティコンサート「Concert For Smiles」を定期的で開催。その募金は(公財)国際開発救済財団を通じて被災地に役立てられている。

Jonathan Nott began his tenure as the 3rd Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra in 2014 season. Mo. Nott and the Orchestra won the he Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra's amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO's home and Mozart's Da Ponte Operas in concert style. In 2018, TSO launched "TSO Music & Video Subscription", first-ever digital project in Japanese Orchestras, which provides live-concert video and music as well as CD recording. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 78 concerts in 58 cities since 1976. In 2016, the Tokyo Symphony Orchestra celebrated its 70th anniversary and took a European tour including the concert at Musikverein Großer Saal in Vienna with Mo. Nott. In August 2018, in commemoration of the 40th anniversary of the Conclusion of the Treaty of Peace and Friendship between Japan and China, the Orchestra had concerts in Shanghai and Hangzhou and received high praise. The Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera. Through these activities, the orchestra has received most of Japan's major music awards such as the Minister of Education Award, the Grand Prix of Kyoto Music Award, Mainichi Art Award, Agency for Cultural Affairs Art Award, Suntory Music Award and Kawasaki City Culture Award.

Since becoming the resident orchestra of the City of Kawasaki in 2004, a semi-resident orchestra agreement with the City of Niigata in 1999, and a partnership agreement with Hachioji College Community & Culture Fureai Foundation in 2013, the orchestra has been enthusiastic for school concerts and community concerts. The Tokyo Symphony Orchestra has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東響交響楽団



音楽・動画配信サイト
「TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION」

1か月500円(税別)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

Tokyo Symphony Orchestra Monthly Concert Broadcast
Symphony

Symphony 2020年(令和2年)10月号 [非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764

＜川崎オフィス＞ 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュージック・ペンクラブタワー5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネススクエイト